

Q.入学してからわかった
生文の良いところは？

先生が親身になって相談に乗ってくれるところです！
(大学・美術表現学科)

沢山の資格を取ることができて、登録販売者にも挑戦できること！
(大学・健康栄養専攻)

先生からみた生文とは？

鈴木専先生 大学・美術表現学科
今まで美術をやってきた人だけでなくこれから学びたい学生が多くて純粋さに驚きました！

伊勢周平先生 大学・美術表現学科
悩み相談で、困難なことを乗り越えている学生に関わることが多いです。そこにやりがいを感じます。お礼として作品の一部を貰ったこともあって嬉しかったです！

服作りもファッションショーも楽しいです！
幅広く学べます！
(大学・服飾文化専攻)

Q.大学4年間で
一番の思い出は？

友達と作品展示したこと！沢山の方に来てもらえました！
(大学・美術表現学科)

1年生の「子どもと健康」の授業で沢山シヤトルランをしたことです。
(短大・子ども生活専攻)

Q.将来何をしたいですか？

デザイナーとして、作ったものを世の中に出したい！
ゆくゆくは独立したい！
(大学・美術表現学科)

栄養士。健康な料理を作り、沢山の人に届けたいです。
(短大・食物栄養専攻)

一人暮らしのため学費とアルバイトをどう両立させていくべきか悩んでいます。
(短大・子ども生活専攻)

アパレルの会社で活躍したい！
(大学・服飾文化専攻)

今悩んでいることは？

いつかアートディレクターになりたいので、卒業後はどうするべきか迷ってます…
(大学・美術表現学科)

課題が多いこと！
実習などがあるので忙しいです。
(短大・食物栄養専攻)

先輩はどんな大学生活を送ってる？
気になる質問を聞いてきました。

今悩んでいることは？

今悩んでいることは？

入学してからの良かった生文の良いいところは？

入学式

Freshmen

Seibun Dai to

将来何をしたいですか？

Worried...

Seibun Teachers

今聞けない、学生の声！

大学4年間で一番の思い出は？

生文大通信 No.2 2023年3月発行

発行：東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部 学務広報課

生文大通信第2号 学生スタッフ このページと表紙は、有志の学生スタッフが作成しました！

遠藤 はるか (大学美術表現学科4年/宮城県宮城野高等学校出身)「表紙」写真撮影・デザイン「生文大インタビュー」構成・取材
 太布 萌恵子 (大学美術表現学科3年/宮城県佐沼高等学校出身)「生文大インタビュー」構成・取材・デザイン
 白倉 向日葵 (大学美術表現学科3年/聖ドミニコ学院高等学校出身)「表紙」「生文大インタビュー」イラスト



東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部のことを
もっと知りたい方はこちらから

HP <https://www.mishima.ac.jp/tsb/>

SNS

入試・オープンキャンパスに関するお問合せ

東北生活文化大学
東北生活文化大学短期大学部 入試課・学募広報課
〒981-8585 仙台市泉区虹の丘 1-18-2

0120-20-7521 (平日9:00~17:00)

編集後記

今回は美術表現学科の学生三名がスタッフとして積極的に関わってくれました。大学の活動も活性化し、お伝えしたいことがたくさん！学生や教員たちが忙しくも賑やかにワイワイ活動している姿を見ると、心揺さぶられてじんわり目に涙が滲んでくる、今日この頃です。(学募広報課)

表紙モデル：大学 美術表現学科 S.Oさん

令和4年度ピアヘルパー認定試験合格率91.6%！

「ピアヘルパー」は学生を対象とした日本教育カウンセラー協会認定資格です。いわば、学生のうちにしか取得できない貴重な資格です。青年期の学生なら誰でも遭遇する問題の相談相手になる、ボランティア活動などの世話を務めるなどがピアヘルパーの役目です。本学では令和4年度より加盟校に加わり、子ども生活専攻の学生を対象にピアヘルパー養成講座を実施しました。この講座を通し、適切な自己開示や自己主張ができるようになり、自己肯定感が向上したようです。高いコミュニケーションスキルを求められる保育者を目指す学生たちにとって、学び多きものとなったようです。12月に試験に挑み、11名が合格しました。今後のピアっ子の活躍に乞うご期待！

センス生かし包装紙考案

「地域創生演習I」伊勢周平講師、「染織」佐々木輝子講師、「情報デザイン」鶴巻史子教授の授業を履修する1年生64名と2~3年生7名が、宮城県の伝統工芸品である仙台筆筒のサブブランド構築と商品開発を行いました。仙台筆筒協同組合と協働で「若年層に受け入れられるデザイン」をテーマにロゴや商品を考えました。太布萌恵子さんが提案した「金具をモチーフとする木製ファイルケース」は筆筒職人から高く評価されました。今回は、竹沢千陽さんがデザインした「龍の金具模様の包装紙(2パターン:紺&蛍光緑色、白&茶色)」が採用となり、佐藤雛乃副手が実装し、現在、湯目家具百貨店にて小筆筒などを包む包装紙として使用されています。

生文大通信

東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部 広報誌

No.2

2023.March

入学してからの良かった生文の良いいところは？

入学式

Worried...

Seibun Dai to

将来何をしたいですか？

Seibun Teachers

今悩んでいることは？

Freshmen

今聞けない、学生の声！

大学4年間で一番の思い出は？

生文大通信 No.2 2023年3月発行

発行：東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部 学務広報課

表紙モデル：大学 美術表現学科 S.Oさん

特集：生文大インタビュー

2022年度後期イベントピックアップ
2023年度前期オープンキャンパス
栄養系産学連携事業紹介

ピアヘルパー養成講座
仙台筆筒協同組合連携事業

TOPICS

2022.10 - 2023.3

2022年度後期の
本学の様子を
紹介します

2022

10

A

B

C

D

E

F

G

H

2023

I

J

K

L

M

N

O

P

Q

R

S

2024

4

5

6

7

8

9

大学 服飾文化専攻
大学 健康栄養学専攻
大学 美術表現学科
短大 食物栄養学専攻
短大 子ども生活専攻

QRコードから
詳細ブログを
ご覧いただけます

A 10/15・16 大学祭 & 10/15 ミニオープンキャンパス開催!

3年ぶりに来場型の大学祭を行いました!15日はファッションショー、16日はお笑い芸人ライブで盛り上がりました。15日はオープンキャンパスも同時開催され、とても賑やかな2日間となりました。

B 10/29・11/12 地域連携活動「チリメンモンスターを探せ!」

10/29(スリーエム仙台市科学館)と11/12(本学)に、地域連携活動「チリメンモンスターを探せ!」を、食物栄養学専攻2年生15名と黒川優子准教授と一緒に開催しました。

C 10/29 TSB 公開講座 超高齢化社会が抱える「食べる問題」を考える ～仙台名物をいつまでも美味しく食べるために～

健康栄養学専攻の高橋文講師による公開講座に、一般聴講者約30名が受講してくださいました。最後の質問コーナーでは、受講者の方が積極的に質問される姿が印象的でした。

D 10/30-11/20 大衡村ふるさと美術館企画展

「アニメ・ゲーム」、「情報デザイン」、「陶芸」、「染織」、「地域創生演習」の各授業の中で学生たちによって制作された作品を、「場とオブジェクト」のテーマのもとに展示しました。

E 11/1 食育についての講演「家政特別講義II」

福島県で「食育保育園」を運営している園長の蛭田さゆり先生を講師にお招きし、「伝えてほしい食育」と題してご講演と、食育指導のデモンストレーションを行っていただきました。

F 11/1-11/6 テーブルコーディネート展

食物栄養学専攻1年生と2年生が、NPO法人食空間コーディネート協会東北北海道支部主催テーブルコーディネート展に参加し、班ごとに異なったテーマでコーディネートを開発しました。

G 11/15 せんだい ai プラン ダンス動画完成☆

仙台市社会福祉協議会が策定した「地域福祉活動計画(せんだい ai プラン)」のPR オリジナルテーマソングに乗せたダンス動画を、子ども生活専攻1年生が制作しました。

H 11/19 地域連携活動 水の森市民センター地域まつり

服飾文化専攻の学生作品(2年次服飾工芸・造形I及び同III、染色学実習およびテキスタイルデザインII)を展示し、有志の学生が作品の説明をする等、地域の方々と交流しました。

I 12/3 令和4年度 家政学科専門研究・課題研究発表会

本学百周年記念ホールにて大学家政学科4年生の研究発表会が行われました。学生は4年間で学んだ成果をスライドを使用して発表しました。服飾文化専攻の専門研究で制作した作品はホワイエに展示されました。

J 12/4 ミニオープンキャンパス開催!

来場型では、各学科専攻の特色が表れた企画とガイダンス・見学会を実施し、相談コーナーにて個別に相談をお受けしました。オンライン型では、ご自宅からリラックスしてご参加いただきました。

K 12/9 中国の東北師範大学とのオンライン交流会

東北師範大学(中国・吉林省长春市)のファッションデザイナーに在籍している教員と学生、服飾文化専攻の教員と学生が参加し、初めての交流会を行いました。今後の交流が楽しみです!

L 12/10 フィールドワークを通して子育て支援事業体験

子ども生活専攻2年生「地域福祉論」のフィールドワークとして、いずみワクワク食堂が主催する「親子クッキング教室」に参加してきました。自分が体験してみている学びは大きいようです。

M 12/11・1/8・1/21 大学生活スタート&保護者説明会

令和5年度入学予定者向け新生活準備のための説明会を開催しました。入学前に知りたいこと、疑問や不安などを、大学生協スタッフ・教職員・学生から直接話を聞ける場となりました。

N 12/19・1/10 保育・食育実践プログラム 模擬給食会議

食物栄養学専攻・子ども生活専攻の1年生全員で、子どもの食育をテーマにワークショップを実施。学生たちは架空の保育所の保育士と栄養士の立場になりきって話し合い、多職種連携のメリットを実感する機会となりました。

O 12/23-3/31 高校生デッサンコンクール オンライン展示

宮城県内の高校生を対象としたデッサンコンクール。「石膏像」をテーマに146点ご応募いただきました。特別審査員に佐々木成美氏(画家)をお招きし、審査の上決定した入賞作品は期間限定でオンライン展示を行いました。

P 1/6-3/10 緩和ケア支援センターへの衣装製作・寄贈

医療法人心の郷 徳波の郷クリニック 緩和ケア支援センターはるかで行う劇「泣いた赤鬼」のために、服飾文化専攻ファッションサークルのメンバーが主体となり衣装を製作し、3/10に寄贈しました。

Q 2/21-2/26 第55回美術学部美術表現学科卒業制作展

旧生活美術学科から通算して55回目、美術学部としては初めての卒業制作展が、県民ギャラリーで開催されました。1年間かけて制作した絵画・デザイン・工芸・メディア芸術等様々なジャンルの作品が展示されました。

R 2/22 第15回ファッションショー外部公演

毎年恒例のファッションショー外部公演。近年はオンライン型等紆余曲折がありましたが、今回は久しぶりに来場型ランウェイショーの形式に戻り、沢山の方々にご来場いただきました!

S 2/28～3月中旬 みやぎベジプラスメニュー販売開始!

健康栄養学専攻3年の大原みどりさんが考案した「チリソース風野菜炒め」が、「みやぎベジプラスメニュー」コンテストで入賞して商品化! 藤崎本店の個食・総菜コーナーで販売されました。

OPEN CAMPUS 6/17sat・7/16sun・8/6sun・3/16sat

SEIBUN CAFE 5/21sun・9/3sun・12/3sun

新型コロナウイルスの影響に伴い、中止・延期または内容変更になる場合もございますので、ご了承ください。

産学連携

近年、本学では地域の企業と連携した活動が増えています。今回は本学の栄養学専攻が現在行っている「産学連携事業」を紹介します。企業の「プロの視点・技術」と学生の「若い感性・研究」がコラボレーションし、新たな商品を生み出します。

企業とコラボして新しい商品を開発!

大学 健康栄養学専攻 × 株式会社利久

2022年9月に健康栄養学専攻は株式会社利久と産学連携協定を結びました。そこでタン先やタン下などの比較的安価な部位を用いた若い人向けの健康的なメニューを開発することとなりました。3年生が開発を担当し、テスト販売を経て、3月に「食べ方色々!牛タン紅茶鍋御前」が泉区内の3店舗や仙台パルコ2店などで販売。今年の夏には「牛タンピビンバ定食」、冬には「牛タンテール鍋定食」が産学連携メニューとして販売予定です。仙台で管理栄養士を養成する本学ならではの取り組みです。[担当:川俣幸一教授]

短大 食物栄養学専攻 × 有限会社ジャンボンメゾン

2022年8月より(有)ジャンボン・メゾンと東北生活文化大学短期大学部で産学連携事業の協定を結び、「味噌ベーコン」の開発を行っています。また、この商品に合わせたレシピを食物栄養学専攻1年生全員が作成し、各審査を突破した3名が2月2日のコンテストで競いました。そして最優秀賞には「味噌ベーコンの筑前煮」が選ばれました!企業様のご厚意により、今回の3つのレシピ全てを味噌ベーコン販売時のギフトカタログに掲載させていただくこととなりました。1年生にとって1年間学んできた調理学や調理実習の成果を存分に発揮できたとても良い経験となりました。[担当:青柳大講師]

× フレスコ株式会社 × 株式会社カルラ

食物栄養学専攻2年生は、スーパーマーケットの「フレスコキクチ」(フレスコ株式会社)コラボ弁当プロジェクトに取り組んでいます。今年度は「健美彩菜」が商品化され、1ヶ月で1,929個販売。好評につき定番商品となりました。[担当:木下ゆり准教授]

株式会社カルラと東北生活文化大学短期大学部が共同でおからを使ったお菓子「おからのおやつ」を開発。カルラのオンラインショップで取扱中です。[担当:永沼孝子教授・益田裕司准教授]

10/31 ハロウィンの日、学内のどこかに「ハンワラベーター」が出没したという噂が...